結の故郷 越前おおの　　報道資料

【発信日】令和８年１月７日
【問合わせ先】
大野市役所（２階２５番窓口）
教育委員会教育総務課　土蔵、山川
電話　0779-64-4827　内線 2804

上庄小学校児童が

プレゼン大賞（最優秀賞）受賞を市長に報告します

この度、福井県教育委員会主催、明日をひらく！プレゼンコンテストにおいて、上庄小学校が最優秀賞であるプレゼン大賞を受賞しました。

つきましては、上庄小学校児童が市長に受賞報告をしますので、取材をお願いいたします。

記

１ 日　　時　　市長訪問：１月９日（金曜日）午前１０時００分

２ 場　　所　　大野市役所２階応接室

３ 訪 問 者　　大野市上庄小学校　６年生児童５名
引率　川端英郁校長、谷口実優教諭（６年担任）

４ 受賞内容　　明日をひらく！プレゼンコンテスト　小学生の部プレゼン大賞（最優秀賞）

５ そ の 他　　上庄小学校の受賞報告を添付します。

明日をひらく!プレゼンコンテスト
小学生の部プレゼン大賞(最優秀賞)受賞報告

大野市上庄小学校

１　主催　　福井県教育委員会
２　共催　　一般社団法人プレゼンテーション協会
３　後援　　福井新聞社
４　開催目的

探究的活動で得た学びを他者へ発信するプレゼンコンテストを実施することで、自分の考えを形成し、目的や場に応じて表現する力を高める。

５　実施内容

（１）応募資格　福井県内全域の小学４・５・６年生および中学生
（２）テーマ　「未来デザイン・プロジェクト」

自分を取り巻く環境・地域社会・コミュニティなどの課題を設定し、その課題を解決し探究活動を通して、より明るい未来をデザインするためのプロジェクトを提案する。

６　審査項目

探究的活動を通して得た学びを整理し、自分の言葉で、自分の考えや気持ちを他者に表現力豊かに伝えているかを審査する。**審査項目は、説得力・発想力・論理性・表現力・資料の工夫の５項目**とする。なお本選では、上記の５項目に加えて、**「質疑応答における対応力」**も審査対象とする。

７　審査方法

提出された動画をもとに審査し、本選に出場できる小学校部門８チーム(本選は７チーム)中学校部門８チームを選出する。

８　本選

１２月１４日(日)　１０時～１２時３０分(小学校部門)
福井県産業情報センター　マルチホール

上記の大会に本校児童５名が参加し、小学校部門のプレゼン大賞(最優秀賞)を受賞しました。以下に発表メンバー、内容、審査員からの質問や評価についてお伝えします。

【参加メンバー(チームMMZ)】

野上 遼太郎(のがみ りょうたろう)　　上田 和樹(うえだ かずき)
伊藤 孫彦(いとう まごひこ)　　馬場 絢加(ばば あやか)
門前 雄大(もんぜん ゆうと)

【発表の概要】

ミミズによる生ごみ分解でごみの減量と堆肥化を進め、焼却に伴うCO_2排出を抑え、地球温暖化防止につながる循環型の環境学習として活動しています。コンポストは私たち(児童)が主体的に管理し、自作グッズ製作(ミミT、缶バッチ)やPRを行い、地域と共に進める持続可能な探究的活動の取組です。地域、市役所、大学、企業とも連携し、様々な方と共同して学ぶ、総合学習に発展してきています。

①現在までの４年間の取組についてまとめて発表しました。

きっかけ、

１年目…ミミズごみコンポストの設置

２年目…ミミズごみコンポストの運用　縫製会社ラコームとグッズ製作

３年目…ミミズの減少　上庄夏祭りでのグッズ販売　コンポストの拡大

②４年目について踏み込んで説明しました。

（１)生ごみの減量で４月～１１月に約１２０kgをミミズが分解、約２４４００gのＣＯ2削減に成功しました。

（２)ミミズデザインＴシャツ(ミミＴ)づくりと缶バッジづくり

児童がアイディアを出し、企業と協力してグッズを製作しました。

（３)上庄夏まつりでのPR活動

地域の夏まつりに参加し、活動をPRした。また、活動資金獲得のため、Ｔシャツ等を販売した。売上金約１４万円　　収益金約７万円

（４）コンポストカバー改造

福井大学、酒井化学工業の協力の下、酷暑に負けないようミミズの環境を改善しました。

（５）ミニコンポストによる対照実験

ミニコンポストを設置し、コンポストカバーの違いによるミミズの育成状況の違いを観察開始した。

③これから

肥料の活用に向けて、三浦紋人さんやサントリーＨＤに指導を仰ぎ、来年度の学校園や「上庄ニコニコ☺ひまわりプロジェクト」への活用を検討しています。

【審査員より】

【審査員Ａ(校長会代表)】

〇ずっと話を聞いていて、メモを取るのを忘れてしまうくらいだった。

〇この活動を後輩に引き継いでいくのか。

→後輩に引き継ぐ、また、必要であれば来年も教えに来たい。

〇中学生になった時に、この活動との関わりについてどうしていくか。
→この活動に中心となって関わることはなくなると思う。ただ、中学校でもこの活動の話をして広げたい。
〇中学校になってからも活動したいということか。
→中学生になってからの活動については、今のところ考えてはいないが、できれば広げていきたいと思っている。
〇小さなヒーローのミミズに一言声をかけるとしたら、どのように声をかけたいか。
→無理をしないようにこれからも頑張ってと声をかけたい。
〇ミミズに優しい言葉をかけるところが皆さんのよさだなと改めて思った。
【審査員Ｂ(学校教育監)】
〇元気な発表、ありがとう。
〇ミミズはだいたい何年くらい生きるか。
→ミミズの寿命についてはあまり考えていない。ただ、コンポストの中で繁殖していてどんどんミミズごみコンポストの活動を続けていける状態にはなっている。
〇ミミズの数が減ったときがあったと思うが、それは何故気が付いたのか。
→前より明らかにエサの消費が減ったので、土の中を見てみたらミミズがいないことに気が付いた。と先輩たちが言っていた。
〇そのような話も引き継がれていてすごい。
〇ミミズが生ごみから作る肥料、実際にどのようなものに使っているか。
→過去に花の肥料として与えて成長を促した。これからも野菜や花に活用していく予定。
〇ミミズのＴシャツを着ているがミミズのことは好きか。
→はい。
〇これからも地球環境を守るために、ぜひ頑張ってほしい。

【審査員長(前田鎌利)より】
〇(皆さんの発表を聞いて)よい時間を過ごすことができた。ここに来るまでたくさん頑張ってきたと思う。どのグループもよい発表で、甲乙つけがたかった。
毎回プレゼンテーションをするときには、どのような発表をするかを考えるのでとても大変。すごく悩んだり勉強したりしてきたのだと思う。この本選に来られたことは、本当にすばらしいこと。応援してくれた学校の先生やお家の方など、多くの人が関わって皆さんのプレゼンが成り立っているのだと思う。福井県はこのような発表の場が高校生になってもあるので、ぜひ自分達が伝えたいことを自分たちの言葉で伝えていくという経験をたくさん積んでほしい。それが大人になってから自分の強みになっていくと思うので、ぜひ楽しんでチャレンジしていってほしい。